

II 改訂版の主なポイント

1 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の継続開催

愛知から文化芸術を世界へ発信するため、常に新たな視点で、先端的な芸術と社会や時代との関わり方などを提示する国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を継続的に開催します。



「あいちトリエンナーレ2010」(平成22年8月～10月)

※「あいちトリエンナーレ2013」(平成25年8月10日～10月27日)

「揺れる大地-われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活」をテーマに、五十嵐太郎芸術監督のもと、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内及び岡崎市内のまちなかで開催します。

2 愛知芸術文化センターの運営手法の見直し

本県における文化芸術施策を展開する拠点施設である愛知芸術文化センターは、平成24年10月に開館20周年を迎えましたが、芸術創造・発信機能の強化、効果的な施設運営、利用者サービスの向上等、一層の活性化をめざし、運営手法の見直しを検討します。

【愛知芸術文化センター】



県芸術劇場 大ホール



県芸術劇場 コンサートホール